

# まなポート (大府市中学生学習支援事業)

## 取組の効果

令和元年度末に実施したアンケートでは、生徒、保護者の両方から前向きな意見を多くいただき、今年度は延べ47名の生徒が参加している。令和元年度に中学校を卒業した生徒が、今年度は学生ボランティアとして参加するなど、地域内での好循環が見られる。コロナ禍による休校期間中は、生徒たちの学習の遅れや心理的な不安を少しでも解消するため、オンライン会議システムZoomを活用した「オンラインまなポート」や、郵送による学習教材の送付、添削など、在宅でも実施可能な学習支援を実施した。今後も、新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、様々な家庭環境の生徒に合わせて複合的に学習支援を実施する。

**背景・ねらい** | 学習の習慣付けを行うことにより、「生きる力の醸成」の一助とするとともに、地域で生徒の成長を支える仕組みを構築することを目的とする。

**対象校・対象者** | 市内在住の中学生

**実施教科** | まなクルー（生徒）が希望する全教科

**実施場所** | 4公民館（各中学校区に1か所）

**実施の形態** | 市の委託事業者（NPO法人アスクネット）が、まなポートを運営している。まなクルーが、宿題や教材を持参し、市内公民館を利用している。わからないところがある時に、まなポーター（学習ボランティア）として、サポートする。

**実施日・回数** | 毎週土曜日 午後2時～5時（学校行事により変更する場合あり）

**登録人数** | 47名（令和2年11月末現在）

**参加人数（平均）** | 23名（令和2年11月末までの平均）



## コーディネーター等の取組の様子

学習支援員を各公民館に専属で配置し、生徒の出欠確認や学習サポートを行い、振り返りシート等を使用して生徒の様子や変化を把握している。